

## 令和7年度実質当初予算 教育委員会主要施策の概要

### ◎予算編成のポイント

令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨からの復旧・復興を進めるとともに、「石川の教育振興基本計画」に基づき、未来を拓く心豊かな人づくりに向けて、子どもたちの確かな学力の育成、GIGAスクール構想の実現による学びの質の向上、特別支援教育の充実、教員の資質能力の向上、生涯学習の振興、文化財の保存・活用などの諸施策に積極的に取り組む。

### ◎重点主要施策の概要

- 能登半島地震や奥能登豪雨により、被災した学校施設や文化財を復旧するとともに、被災児童生徒の学びの確保や創造的復興教育の推進などに取り組む。
- 子どもたちの確かな学力を育成するため、小中学校においては、学力向上の取組を推進する。また、高等学校においては、各校の目指す生徒像に応じて、ふるさと教育や実践的なキャリア教育を推進する。
- GIGAスクール構想の実現による学びの質の向上を図るため、ICTを活用した教員の指導力の向上に取り組む。
- 特別支援教育については、障害のある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応したきめ細かな質の高い指導・支援や、将来の自立と社会参加に向けた教育の充実に取り組む。
- キャリアステージに応じた「いしかわ型教員研修体制」を充実させるとともに、子どもたちと向き合う時間を確保するため、教職員の多忙化改善に向けた取り組みを進める。
- 学校・家庭・地域が連携・協力した取組みの推進により、社会全体で教育力向上を図る。
- 本県の文化財の保存と活用に取り組むほか、金沢城の調査研究を一層進める。
- 本県教育の総合的な指針である「石川の教育振興基本計画」について、点検・評価を実施し、必要な改定を行う。

## 令和7年度実質当初予算 教育委員会主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
※復興基金市町事業は能登半島地震復旧・復興推進部計上		
1 令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨への対応		
(1) 学びの環境の再建		
・ 被災児童生徒の学びの確保	36,407	通学方法の変更を余儀なくされた生徒のための通学費の給付、スクールバスの運行 17,100 千円 家屋に被害を受けた世帯に対する授業料や入学手数料等の減免 家計急変世帯の児童生徒に対する学用品等の支給 (市町事業) 19,307 千円
・ 被災児童生徒のこころのケア	76,490	スクールカウンセラーの増員
・ 被災した県立高校の部活動支援	6,400	学校外の体育館・グラウンド等で部活動を実施するための移動費への支援
・ 被災地の子どもの自然体験活動の充実【復興基金(県)】	4,000	国立能登青少年交流の家と連携した小・中学生向けキャンプ等の実施
・ 被災児童生徒の体力向上	1,500	奥能登地域の小学校2校への専門家の派遣、地震前後での体力分析など
・ 県立高校でのふるさと教育・創造的復興教育の推進	48,000	①奥能登5校での地域を超えた交流活動や復興探究コーディネーターの配置、②他地域の高校における能登でのフィールドワークを通じた防災教育
・ ③ICTを活用した遠隔授業のモデル実施	11,000	奥能登地域の県立高校での試行・検証
・ ④災害時学校支援チームの立ち上げに向けた準備	1,500	災害時の学校運営に関する専門的知識と実践的対応力を備えた教職員を養成するための研修体系の構築など
・ ⑤県立学校体育館への空調設備の計画的な整備	14,560	授業・部活動における熱中症対策と避難所としての環境改善 (実施設計:9校)(R10年度末までに全校完了)
・ 輪島漆芸技術研修所の復興に向けた研修環境の充実	90,721	寄附金を原資とする基金を活用した寄宿舍の整備 (⑥実施設計) 59,421 千円 研修生の教材・用具購入、⑦研修生に対する奨学金の支給など 31,300 千円
(2) 公共施設等の復旧等	債務を含め	
・ 県立学校	8,997,248	本復旧工事、仮設校舎の整備など
・ 社会教育施設	357,337	能登少年自然の家
・ 自治公民館の再建支援【復興基金(市町)】	13,000	認可地縁団体以外の自治会等が所有・管理する施設の建替・修繕への助成(補助率2/3)

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財レスキュー・文化財ドクター派遣【復興基金(県)】</li> </ul>	3,000	文化庁と連携した被災文化財の救出・一時保管、復旧に向けた技術支援など
<ul style="list-style-type: none"> <li>被災文化財の保全・修復</li> </ul>	385,160	保存修理への支援 300,000 千円 金沢城跡 85,160 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>民間所有の文化財の復旧支援【復興基金(県)】</li> </ul>	350,000	国・県・市町の補助制度に加えた支援による所有者負担の更なる軽減(国・県・市町指定、国登録、国選定:補助率2/3、未指定:補助率1/2)
(3) 創造的復興リーディングプロジェクトの推進		
<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用した遠隔授業のモデル実施(再掲)</li> </ul>	11,000	奥能登地域の県立高校での試行・検証
<ul style="list-style-type: none"> <li>県立高校でのふるさと教育・創造的復興教育の推進(再掲)</li> </ul>	48,000	奥能登5校での地域を超えた交流活動や復興探究コーディネーターの配置、他地域の高校における能登でのフィールドワークを通じた防災教育
2 いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成		
(1) ふるさと石川に対する誇りと愛着の醸成		
<ul style="list-style-type: none"> <li>県立高校でのふるさと教育・創造的復興教育の推進(再掲)</li> </ul>	48,000	奥能登5校での地域を超えた交流活動や復興探究コーディネーターの配置、他地域の高校における能登でのフィールドワークを通じた防災教育
(2) 地域の活性化に貢献できる人材の育成		
<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり高校の魅力発信の強化</li> </ul>	1,000	中学生、保護者、中学校教員を対象とした工業系高校での体験・説明会の開催
<ul style="list-style-type: none"> <li>企業と連携したアントレプレナーシップ教育(企業家教育)の推進</li> </ul>	2,500	能登地区の高校での実践的な指導、ビジネスプラン作成
(3) イノベーションを担う人材の育成		
<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生における理科教育の充実</li> </ul>	1,600	中学生サイエンスチャレンジの開催など
<ul style="list-style-type: none"> <li>いしかわ高校科学グランプリの開催</li> </ul>	1,110	生徒の科学に関する興味・関心を高め、応用力等を伸ばすための大会の開催など
<ul style="list-style-type: none"> <li>県立高等学校における情報・理数教育の推進</li> </ul>	109,000	ICT機器の導入など
(4) グローバル人材の育成		
<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生の海外留学促進</li> </ul>	8,250	企業からの寄附金を活用した産学官連携による留学支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校における英語専科教員の配置</li> </ul>	—	配置人数 33人

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国語指導助手の配置</li> </ul>	219,454	高等学校等 44人
3 学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力の育成		
(1) 確かな学力の育成		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小・中学校における学力向上対策の推進</li> </ul>	29,172	学力向上プログラムの推進 14,172 千円 金沢大学と連携した学力向上に向けた分析・改善、 推進校による指導方法等の研究・開発など 小・中学生の基礎学力調査の実施 15,000 千円 実施学年 小学校4・6年生、中学校3年生
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立高校におけるSTEAM教育の推進</li> </ul>	1,000	県内大学や企業と連携した推進チームにおける研究、 教員向けフォーラムの開催など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いしかわニュースーパーハイスクール (NSH)の推進</li> </ul>	6,000	思考力・表現力・判断力等を備え、将来、国際社会で活躍 できるリーダー的人材の育成 金沢泉丘、小松、七尾、金沢二水、金沢桜丘高等学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ きめ細かな指導体制の充実</li> </ul>	—	中学校1年生での35人学級の実施 学習指導の充実等を図るため、小中学校及び高等学校に 退職教員等を非常勤講師として配置
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ⑩ICTを活用した遠隔授業のモデル実施(再掲)</li> </ul>	11,000	奥能登地域の県立高校での試行・検証
(2) GIGAスクール構想の実現による学びの質の向上		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員のICT活用指導力の向上</li> </ul>	1,765	県教員総合研修センターによるGIGAスクール対応研修 の実施
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立学校におけるICT支援員の配置</li> </ul>	102,761	タブレット端末の日常管理など教員業務の補助 配置人数 22人
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒の1人1台端末の計画的な更新</li> </ul>	2,598,478	小・中学校段階の端末更新に対する基金を活用した支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ⑩スクールネットの更新</li> </ul>	1,143,134	県立学校の児童生徒・教員が使用するネットワーク環境の 利便性・安全性向上
(3) キャリア教育・職業教育の充実		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いしかわ産業教育フェアの開催</li> </ul>	3,000	各学校による学習成果の発表、各種競技会、販売実習等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業界等と連携した専門人材の育成</li> </ul>	5,600	生徒の長期型企業実習、企業・大学等と連携した先進的・ 実践的な取組の推進 専門高等学校等 9校程度

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
(4) 特別支援教育の充実 ・ インクルーシブ教育の推進  ・ 小松特別支援学校の教育環境の向上  ・ 就労支援の充実・強化  ・ 小中学校における通級指導の充実	2,600  6,000  3,400  -	④特別支援学校と全日制高校の交流・共同学習の積極的な展開など  寺井高等学校敷地内への新たな特別支援学校の整備(基本計画)  いしかわ版特別支援学校技能検定の実施 特別支援学校 5校2分校 1,500 千円 障害のある生徒のインターンシップ促進 1,900 千円  ④通級指導教室の拡大(145学級→162学級)
4 豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくり		
(1) 心の教育・道徳教育の充実、人権教育の推進		
・ 道徳教育の推進  ・ 心の教育の充実  ・ 人権教育の推進	6,000  10,699  12,041	推進校における「考え、議論する道徳」の研究実践 小・中学校 10校  家族の手紙、グッドマナーキャンペーンの実施など  学校・社会教育における人権教育・啓発の推進 指導者の研修、啓発資料等の作成・配付
(2) いじめ・不登校等への取組の充実		
・ いじめを見逃さない学校づくりの推進  ・ 学校におけるカウンセリングの強化	9,430  271,809	いじめ対応アドバイザーの派遣など  スクールカウンセラー等の配置 小・中・高等学校(全校)、④特別支援学校(2校)、やすらぎ教室(全7か所) 被災地域へのスクールカウンセラーの増員(再掲) 不登校児童生徒の保護者交流会の開催
・ 生徒指導・支援体制の充実  ・ 校内教育支援センター専任教員の配置  ・ インターネット等の適正利用の推進	22,002  -  2,923	スクールソーシャルワーカー等の配置(35人)  ④小・中学校 20校→30校  スマートフォン等インターネットの適正な利用とその危険性に関する指導、啓発の実施
(3) 体験活動の充実		
・ 休日の部活動の地域移行に向けた支援	93,100	④公立中学校の運動部、文化部(12市町→14市町)

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>自然体験活動の充実</li> </ul>	9,038	いしかわ子ども自然学校の実施 5,038 千円 被災地の子どもの自然体験活動の充実【復興基金(県)】 (再掲) 4,000 千円
(4) 文化・芸術活動を通じた豊かな感性の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>㊦全国高等学校総合文化祭(R9年夏)開催準備の本格化</li> </ul>	27,000	実行委員会の設置、500日前PRイベントの開催など
(5) 健康や体力をはぐくむ教育の充実・防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>いしかわっ子体力アップ推進プランの実践</li> </ul>	867	全ての公立小中高等学校における「1校1プラン」の取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>㊧災害時学校支援チームの立ち上げに向けた準備(再掲)</li> </ul>	1,500	災害時の学校運営に関する専門的知識と実践的対応力を備えた教職員を養成するための研修体系の構築など
<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員や児童生徒の防災意識の向上</li> </ul>	3,000	危機管理マニュアルの点検のための専門家の派遣など
<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路の安全対策の推進</li> </ul>	2,700	通学路安全対策アドバイザーの派遣など
5 信頼される質の高い学校づくり		
(1) キャリアステージに応じた「いしかわ型教員研修体制」の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアステージに応じた教員研修の実施</li> </ul>	89,260	初任者研修、管理職研修、若手教員早期育成プログラムの実施など 76,983 千円 いしかわ師範塾による即戦力となる人材の育成と確保 12,277 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員健康保持対策の充実</li> </ul>	59,412	定期健康診断など教職員の健康管理 50,127 千円 教職員のメンタルヘルス対策の推進 6,401 千円 精神疾患による休職者の職場復帰訓練の実施、復帰時の勤務負担の軽減の実施 2,884 千円
(2) 優秀な教員志望者の確保と養成 <ul style="list-style-type: none"> <li>教員確保対策の充実</li> </ul>	—	教員採用説明会の開催、就職フェア(ILAC主催)へのブース出展、教員採用試験の工夫など
(3) 多様なニーズに応える学校づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>特別入学による外国人生徒等への支援</li> </ul>	6,400	日本語教育・通訳等の支援員の配置

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
<p>(4) 教職員の多忙化改善の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員の多忙化改善に向けた取り組み</li> <li>・ 〇〇高校入試ウェブ出願システムの導入</li> </ul>	<p>614,614</p> <p>64,000</p>	<p>スクール・サポート・スタッフの配置 (小・中・高・特別支援学校全校) 312,110 千円 〇〇教頭を補佐する教頭マネジメント支援員のモデル配置 (14校→23校) 45,339 千円 部活動指導員の配置 56,954 千円 〇〇休日の部活動の地域移行に向けた支援(再掲) 93,100 千円 県立学校におけるICT支援員の配置(再掲) 102,761 千円 県立学校における採点業務省力化ソフトの使用 (全日制高等学校全38校) 4,350 千円</p> <p>出願者の利便性向上と教職員の負担軽減 (R8年度実施の入試から運用)</p>
<p>(5) 教育環境の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〇〇小松特別支援学校の教育環境の向上(再掲)</li> <li>・ 県立学校の施設設備の整備</li> <li>・ 金沢西高等学校第2グラウンドの移設</li> <li>・ 高等学校就学支援金の支給</li> <li>・ 教育費負担軽減奨学金の支給</li> <li>・ 県立学校の給食費の保護者負担の軽減</li> <li>・ 修学援助の充実(育英資金特別会計)</li> <li>・ 特別支援学校への就学援助</li> </ul>	<p>6,000</p> <p>1,542,092</p> <p>1,500,000</p> <p>1,843,169</p> <p>203,388</p> <p>3,000</p> <p>244,469</p> <p>563,546</p>	<p>寺井高等学校敷地内への新たな特別支援学校の整備 (基本計画)</p> <p>大規模改修 1,298,626 千円 金沢辰巳丘高等学校など8校 雨漏りの緊急修繕 228,906 千円 小松工業高等学校など3校 〇〇県立学校体育館への空調設備の計画的な整備(再掲) 14,560 千円</p> <p>校舎隣接地への移設による教育環境の向上(〇〇造成工事など)</p> <p>一定の年収未満の世帯の生徒の授業料に充当</p> <p>低所得世帯の高校生等に給付型の奨学金を支給</p> <p>食材費上昇分の抑制 金沢錦丘中学校、定時制高校5校、特別支援学校8校2分校</p> <p>新規貸与枠400人</p> <p>保護者の負担軽減</p>
<p>6 学校、家庭、地域が連携・協力した、社会全体による教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭教育の充実</li> </ul>	<p>16,200</p>	<p>親学び講座「肝心かなめの1年生塾」の開催支援、電話相談等の実施、テレビ番組の放映</p>

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と学校の連携・協働体制構築</li> </ul>	9,343	コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動を一体的に推進するための体制構築に対する支援(4市町)、県立学校でのモデル実施
<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後等の学習支援・体験活動の推進</li> </ul>	13,504	放課後等における学びや体験の場の提供(5市町/31か所)
7 生涯にわたり学び続ける環境づくり		
<ul style="list-style-type: none"> <li>県民大学校の充実</li> </ul>	38,735	教養・専門講座、ふるさとモット学び塾の開催など
8 文化財の保存・活用		
<ul style="list-style-type: none"> <li>金沢城の調査研究</li> </ul>	22,773	二の丸御殿に重点をおいた研究の推進 9,172 千円 城内儀礼の研究、金沢城調査研究所のこれまでの研究成果の発信など
<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産登録に向けた取り組み</li> </ul>	4,642	文化遺産学術調査委員会の開催等 642 千円 石川県歴史文化会議事業への支援 4,000 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>妙成寺の国宝指定に向けた気運醸成</li> </ul>	2,000	羽咋市と連携した現地ツアー、県内各地域でのパネル展の開催など
<ul style="list-style-type: none"> <li>有形文化財の保存</li> </ul>	18,872	旧山岸家住宅の耐震診断、 <sup>㊦</sup> 旧松下家住宅の保存修理など
<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡名勝天然記念物の保存</li> </ul>	28,610	<sup>㊦</sup> 旧福浦灯台の保存修理、能美古墳群の環境整備など
<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統的建造物群保存地区の保存</li> </ul>	9,788	金沢市、加賀市、白山市
<ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財発掘調査の促進と公開・活用</li> </ul>	618,324	埋蔵文化財緊急発掘調査の促進 613,014 千円 古代ふれあい体験の促進等 5,310 千円
9 <sup>㊦</sup> 石川の教育振興基本計画の改定	9,000	教育を取り巻く環境の変化を踏まえた計画の改定